



危害・危険情報

令和5年1月18日
生活文化スポーツ局

スプレー缶の事故に注意しましょう！

殺虫剤、ヘアスプレー、消臭剤など、スプレー缶製品は日常生活のさまざまなところで使用されています。

スプレー缶に充填されている噴射ガスの多くには、可燃性ガスが使用されていて、**誤った取扱いをすると爆発を引き起こすなど大変危険です。**

先日の**港区六本木**、令和元年7月の大阪府高槻市、平成30年12月の札幌市でのスプレー缶のガスによる爆発火災事故は記憶に新しいところですが、改めてスプレー缶の正しい取扱い方法を確認し、事故を未然に防ぎましょう。



事故事例

- ・カセットコンロの火がつかなくなり、ガスボンベを使い切ったと思った。廃棄のため穴をあけると火花が散り、左腕を火傷した。(令和4年6月)
 - ・事務所でシュレッダーにエアゾールスプレーを吹き付けたところ、爆発を伴う火災が発生し、1名が負傷した。(令和2年5月)
 - ・ガスファンヒーターを使用中、スプレー缶が破裂して、周辺を焼損し、軽傷を負った。(平成30年12月)
 - ・台所で消臭スプレーのガス抜きをしたところ、引火して指から肘まで火傷した。(平成30年7月)
 - ・スプレー式の洗浄剤をガスコンロに使用后、点火したところ、爆発して周辺を破損し、衣類が焦げて火傷を負った。(平成29年4月)
 - ・殺虫剤を台所で使ったところ、コンロの火に燃え移り、顔と腕に火傷をした。(平成28年5月)
- ※事故情報データベースより

事故を防ぐポイント

- ・**火気のある場所の近くでは使用しない**
可燃性ガスを含むスプレー缶を火気のある場所の近くで使用すると、ガスに引火して急激に燃え広がるおそれがあるため危険です。「使用上の注意」や「警告表示」に従って、**火気のある場所の近くでは使用しないでください。**
- ・**使用時や使用後は十分に換気を行う**
可燃性ガスを含むスプレー缶の使用時は、**ガスが滞留しないように**気を付けてください。換気が終わるまでは、ライターや火花が発生する機器（ガスコンロ、換気扇、掃除機など）を使用しないでください。
- ・**暖房器具の近くや直射日光が当たる場所など、高温になる場所にスプレー缶を置かない**
ファンヒーターなどの暖房器具の近くにスプレー缶を置かないでください。缶が熱せられると、**内部のガスが膨張して内圧が上がり、缶が破裂するおそれがあります。**
- ・**自治体の指示に従って廃棄する**
スプレー缶を捨てるときは、**屋外の風通しのよい場所で**、スプレーボタンを押すなどして、**中身を出し切ってください。**
スプレー缶に中身が残っている状態で**穴を開けると、漏れ出た可燃性ガスに引火するおそれがあります。**なお、**廃棄方法については、自治体の指示に従ってください。**



【詳しい情報はこちら】

- ・一般社団法人日本エアゾール協会 「安全で正しい使い方」
<https://www.aiaj.or.jp/safety.html>
- ・独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE) 「スプレー缶で思わぬ事故が発生しています」
(平成 30 年 12 月 26 日)
<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/press/2018fy/prs181226.html>
- ・独立行政法人国民生活センター
スプレー缶製品・カセットボンベによる事故の防止策 -正しい廃棄で事故を防止！ -
(令和 2 年 2 月 20 日)
https://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20200220_1.pdf

問合せ先 東京都生活文化スポーツ局消費生活部生活安全課
TEL 03-5388-3082

